

## 新春雑感



### 趣味の時間

人口労働グループ  
大吉正巳

今年はサブロクのカブ年、出生から数えて36年目を迎える訳で、人生の約半分を生きてきた勘定になります。

新春を迎えるに当たり考えることは、子供の頃は遊ぶことに専念していたが、成人してからは、年を取るに従って遊びに使う時間が減ってきたように思う。

今年からの目標の一つとして、もう少し趣味に使う時間を増やしたい。

例えば、写真やビデオを今までより高度に楽しむ。また、数年前に趣味の仲間から脱落してしまったスキーを復活させたい。ゴルフは10年位前から現在まで続いてはいるが、最近めっきり回数が減ってしまったので、これにももう少し情熱を注ぎたい。

身体面では、成人病が心配になる年になってきているので、人間ドック等の受診や、バランスのとれた食生活などにより健康を維持し、これからの人生が楽しいものとなるようにしてゆきたい。



### 「ゴジラ」のこと

人口労働グループ  
藤咲和弘

明けましておめでとうございます。

私の生まれたのは、昭和29年なので今年で36才。昭和29年といえば、日本は戦後の回復期をへて、高度経済成長への時代に入ろうという時代。それから36年、日本は今や世界でも有数の経済大国になり、そのような時代を生きてきた私としては、

特に苦勞という苦勞も知らずに生きてきたように思う。

さて、私と同じように今年で36才になるのが「ゴジラ」である。ゴジラは、昭和29年、日本の怪獣映画の第1号として誕生した。その後、現在まで何回となく上映され、数多くの怪獣や人間と戦ってきた。小学生の頃、「ゴジラ」を見るため映画館へ行くのが最大の楽しみであったが、この36年間でゴジラの身長は30m大きくなり(昭和29年時は50m、現在は80m)、顔つきは仏のようになったり、鬼のようになったりしたが、より多くの人々に親しまれつづけてきた。昨年末、その「ゴジラ」の映画ポスターを見て懐かしくなり、20年ぶりに今度は小学生になった娘と見に行こうと思っている。



### 新春

商工グループ  
荒井洋子

新年を迎えると、何か新たな希望が持てるような気がする。

特に、3回目の午年の頃は、夢や希望が、はちきれんばかりにたくさんあった。

4回目の午年は、家事や子育てにおわれ、干支等意識しないで、忙がしく過ぎてしまった。

いよいよ5回目を迎えるとじになってしまった。この齢になると、自然と積み上げたものがあるはずなのに……。中身はカラッポ。何か夢がないかと、机の中やハンドバッグの中を探してみたが、どこにもみつからない。

でも人生80年時代。子育て後の30年～40年をどう生きるかは、女性にとって、可能性あるものへのチャレンジ。(できるかな?)

職場で街で、イキイキしている女性<sup>ひと</sup>が目につきま

## 統計課の午年生まれの方

す。家族も大切だけど、自分にも時間をかけ「豊かで生きがい」のある確かなものを、つかんでゆきたい。



### 今度こそ午年に誓う

農林経済グループ  
石川 静 枝

3度目の午年を迎えた頃、友人のO君が、君は怒りっぽい性格だからと言って、私に渡してくれた1枚の大きなメモ用紙には、太い字で「罨」と書いてありました。なぜか理由がわからなかった

私は、「これ(罨)どういう意味」と聞くと、O君は「人生はガマン、腹という字は立てずにいつも横に寝かして生きて行くのがいいんだよ」という事でした。その時は良い言葉なので肝に命じて生きていくつもりでしたが「若かったのかな」なかなか実行は出来ませんでした。

今度こそ、今度こそ5度目の午年……。もう若くはない、今年こそは「これ(罨)」を実行して、周りをよく見て自分勝手にならず生きて行こうと誓いました。

## 干支のはなし —統計インフォメーション No.24から—

### 丙午(ひのえうま)と出生数 —全国—

昔から丙午(ひのえうま)生まれの人は気性が激しと言われ、特に女性の出生を避けようとする事から、丙午の年の女子の出生数が極端に少なくなる。まず、明治39年が丙午の年であったが、前年の出生数が145万人であったのに対し、この年は139万人に減少し、翌年には161万人に急増している。

次の昭和41年の丙午には、前年の出生数が182万人であったのに対し、この年は136万人に激減し、翌年には194万人に激増している。この年前後の出生性比(女兒100に対する男児の数)をみると、図-1のように激しく変動している。

これは、女兒について出生日を操作して届出しているためと思われる。

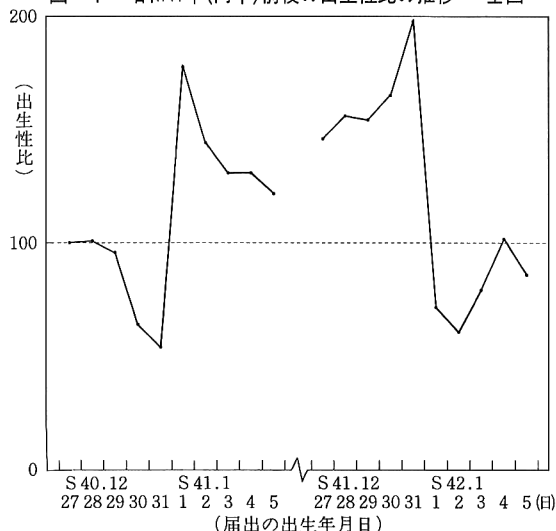
### 午(うま)年の主な出来事

- 明治27年 日清戦争勃発
- 明治39年 夏目漱石「坊ちゃん」刊行
- 大正7年 第一次大戦終了

- 昭和5年 相場・米価大暴落
- 昭和17年 関門トンネル開通
- 昭和29年 プロレスブーム
- 昭和41年 ミニスカート流行
- 昭和53年 成田空港開港

(統計課・人口労働グループ)

図-1 昭和41年(丙午)前後の出生性比の推移 —全国—



資料：厚生省「人口動態統計」